

# ICSシステムニュース【号外】

号外 2025年12月版

## ～意外と簡単！電子申告国税ダイレクト納付～



税の納付は「金融機関や税務署へ行く」ことが当たり前ではなくなりつつあります。昨今、国税庁をはじめとする行政機関では、キャッシュレス納付の利用を強く推進しています。今後、キャッシュレス納付への対応は“特別なもの”ではなくなっていくと考えられます。

### ダイレクト納付とは？どんな仕組み？

ダイレクト納付とは、電子申告を行ったあと、指定した銀行口座から国税を引き落としで納付できる仕組みです。現金の準備や、金融機関・税務署の窓口へ行く必要はありません。「納付のためだけの外出」や「混雑する窓口でのストレス」がなくなります

### こんな点が便利になります

ダイレクト納付を利用すると、日々の業務で次のような変化があります。

- 納付業務の手間と時間を減らせます
  - 納付のために窓口へ出向く必要がありません
  - 納付日を指定でき、うっかり忘れを防げます
  - 電子申告を合わせて行えるため、手続きがシンプルです
  - 納付情報を画面上で確認でき、顧問先への説明もシンプルになります。
- 「一度使うと、以前の方法には戻れない ✕✕」と感じる方も少なくありません。

### こんな方にもおすすめです

- 国税の納付業務をできるだけ簡単にしたい方
- 忙しい時期の納付対応を減らしたい方
- 顧問先に、今後を見据えた納付方法を提案したい会計事務所さま

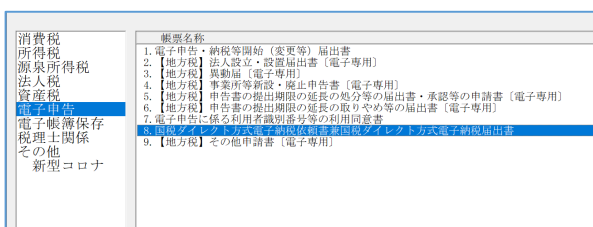
### まずは、一部の税目から試してみることも可能です

キャッシュレス納付の具体的な手続き方法を、画面イメージを交えて分かりやすくご紹介します。「難しそう」と感じている方こそ、是非一度ご確認ください。

## 処理の手順

- ダイレクト納付利用届出書を作成し、提出する【初回のみ】
- ダイレクト納付利用可能のお知らせの確認【初回のみ】
- 申告書データもしくは納付情報登録依頼を入力し、電子申告する
- ダイレクト納付の手続きを行う【自動ダイレクト納付を選択しない場合】
- 引き落とし日にメッセージボックスで確認する

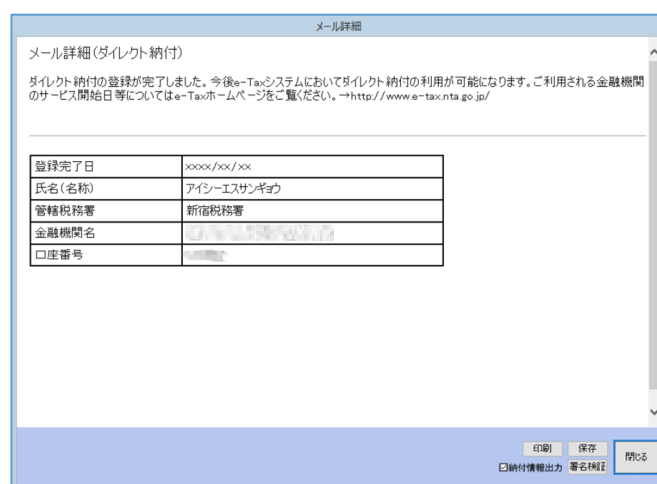
**操作手順**    **ダイレクト納付利用届出書作成**  
届出書処理    電子申告    「8.国税ダイレクト方式電子納税依頼書兼国税ダイレクト方式電子納税届出書」を作成します。入力後印刷し、金融機関印を押印後、税務署に提出します。





**操作手順**    **利用可能のお知らせの確認**

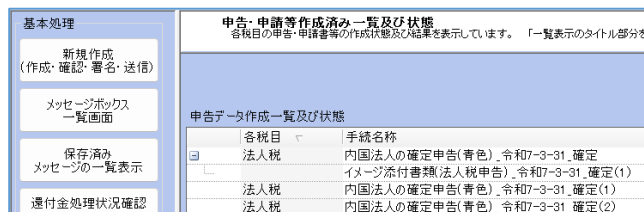
ダイレクト納付の利用が可能となった方には、納税者のメッセージボックスに「ダイレクト納付登録完了通知」が格納されます。



ダイレクト納付利用届出書は書面での郵送が必要。  
提出してから利用可能となるまで、1 か月程度かかります。

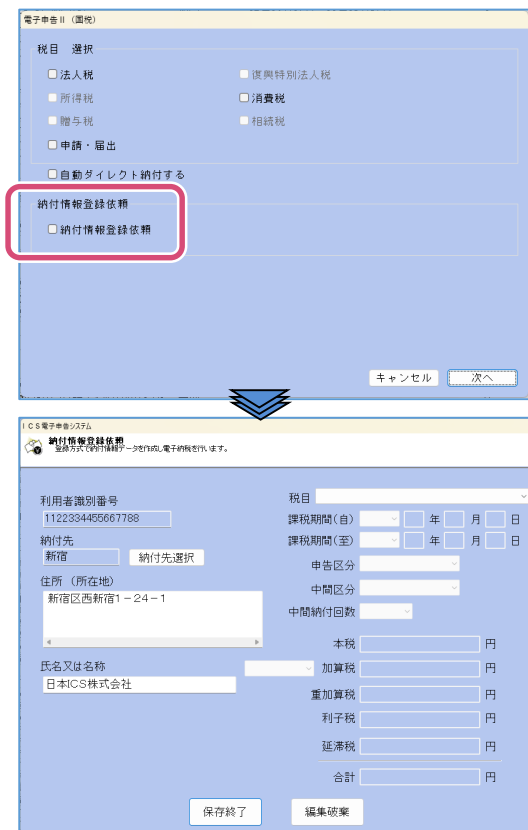
## 操作手順 -1 申告データ作成し電子申告する 【自動ダイレクトしない場合】

電子申告データ作成・表示・署名・送信後、メッセージボックスの受信通知（納付区分番号通知）からダイレクト納付の処理を行います。（操作手順 へ）



## 操作手順 -2 納付情報登録依頼作成後 電子申告する

納付情報登録依頼データを作成・送信することで、申告データを作成・送信せず納付を行うことが可能です。 **自動ダイレクト対象外**

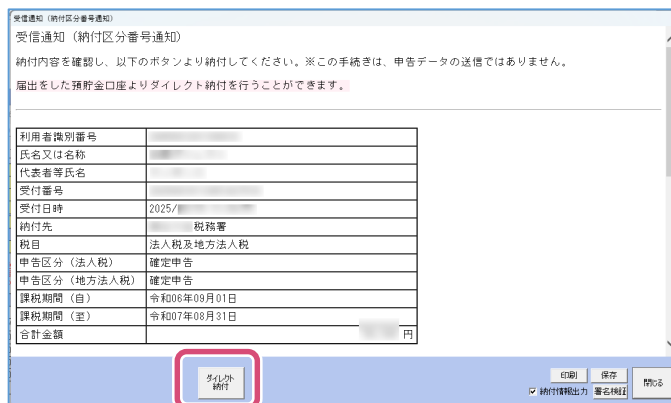


新規作成 「納付情報登録依頼」を選択し、入力画面で必要な情報を入力後、保存終了します。署名不要で送信できます。送信完了後、メッセージボックスに受信通知が届きますので、そこからダイレクト納付の処理を行います。（操作手順 へ）

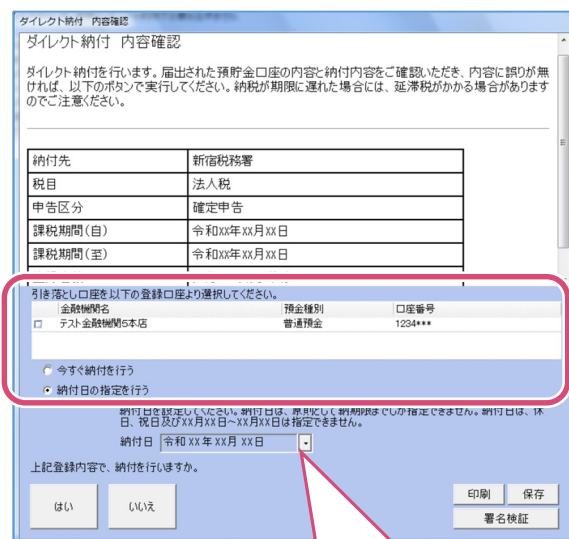
## 操作手順 ダイレクト納付の手続きを行う

メッセージボックス 受信通知を開きます。（税理士・納税者どちらでも可）メール詳細の「ダイレクト納付」ボタンを押します。

「納付区分番号通知へ」ボタンを押下後「ダイレクト納付」ボタンが表示される場合もあります。



ダイレクト納付内容確認画面が表示されます。引き落とし口座、納付するタイミングを指定し、「はい」を選択します。

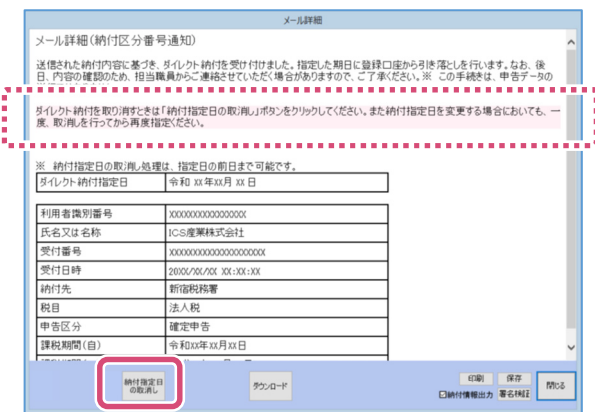


納付するタイミング  
今すぐ納付を行う  
即時に納付を行います。

納付日の指定を行う  
納期限までの納付日を指定して納付を行います。（休日、祝日及び12月29日～1月3日は指定不可）  
指定をする場合条件がありますので、4ページ右下の補足もご覧ください。


納付日を指定した場合、受信通知にダイレクト納付が受け付けられている旨のメッセージが表示されます。

「納付指定日の取消し」ボタンから取消しも可能です。指定日を変更する場合も一旦取消実行後、再度ダイレクト納付の処理を行ってください。



## 操作手順 引き落とし日に確認する

ダイレクト納付が完了すると、申告データの受信通知に引き落としが完了した旨のメッセージが追加記載されます。

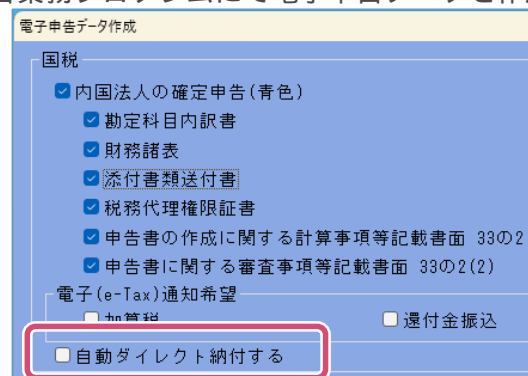


申告データの受信通知とは別にダイレクト納付完了の受信通知も格納され、完了の旨の電子メールも送信されます。

自動ダイレクト納付、手動でのダイレクト納付いずれの場合でも納付指定日にメッセージボックスに通知が届きますので必ず確認してください。納付が完了した場合は「**ダイレクト納付完了通知**」、納付が完了しなかった場合は「**ダイレクト納付エラー通知**」が格納されます。

## 「自動ダイレクト納付」する場合

各業務プログラムにて電子申告データを作成。



「自動ダイレクト納付する」のチェックを入れます。

状態	更新日	自動ダイレクト納付
署名可能	24/07/17 08:56	送信前
署名可能	24/07/11 16:57	
署名可能	24/05/21 13:17	
署名可能	24/05/21 13:04	
署名可能	24/06/17 17:30	

「自動ダイレクト納付する」のチェックを入れて作成したデータは「自動ダイレクト納付」欄にステータス表示されます。空欄のデータは自動ダイレクト納付の設定がされていないデータです。「自動ダイレクト納付」欄のステータスには「**送信前・送信済・受付完了・エラー・○**」が表示されます。

自動ダイレクト納付のチェックを入れて申告データ送信した場合、送信後のメッセージボックスに格納される受信通知(納付区分番号通知)を確認し、「ダイレクト納付」欄の「ダイレクト納付指定日」欄に日付(法定納期限)の記載があれば自動ダイレクトの設定完了です。

自動ダイレクト納付は納付日の指定はできません。法定納期限当日に自動的に口座引き落としになります。(法定納期限当日に申告手続きをした場合は、翌取引日)

## 手動ダイレクト納付の補足【操作手順】

手動でのダイレクト納付で納付日の指定する場合、条件があります。

納付期限の1か月前より指定が可能。

申告期限を延長している場合指定不可。

納付期限当日にダイレクト納付を行う場合や納付期限が過ぎている場合も指定不可。